

PRESENTING THE PARTY



CARING FOR COMPANY.....

玄関のベルが鳴り最初の客がやって来ると、その時からホステスは、すべて客を楽しませる事に専念しなくてはならないのです。

大変大きなパーティ以外はそれぞれ客同士を紹介するのが普通です。これはホステスができる事になっていますが又ホストも手伝います。

又ホストの手伝いなしに客のもてなしをしなければならない時は、一番親しい友達に任せてその部屋を出る事も出来ます。

皆んなにとって新しい珍しい客がやって来た時、小さい集りのパーティなら、そこに来ている人達全員を1人1人紹介します。比較的多人数の場合になれば、それぞれ客は小さいグループを作っていますので、その1番近いグループに紹介します。そしてその人がそのグループにはいりやすくなる様、共通の話題の糸口を見つけ1～2分は一緒に話す様にしましょう。

例えば「この方が幼稚園の事について聞かれましたので、山本さんの奥さんに聞いて見て下さい。あの方はお子さんを去年幼稚園に入れられましたので、その辺の事情はよく御存知だと思います。と云っておきましたからよろしく」とか……………ここで気を付け

なくてはいけないのは余り感情的になり過ぎて他の客に不愉快な思いをさせない事です。例えば「この方は私の知っている内で一番立派な方です」等と紹介するのは皆んなを当惑させるだけでしょう。

もしパーティにカクテルをサーブするのであれば、アルコールの含まれていない飲物を少なくとも1種類は準備し、強い飲物を好まない客が気楽にフルーツパンチや又はジンジャーエールを選べる様にします。

客の1人が時間に来ないからと云って食前のカクテルを1時間以上飲ませないで待っている必要はありません。

例えば夕食を7時半からと招待してあるのに田中夫妻がその時間に到着しない。そんな場合、遅れて来る人のために早く来た人が被害をこうむる事はないのです。ですから先に始め田中夫妻が来れば弁解がましい事は何も云わずに「私はあなた方も先に始めるのを望んでいらっしやうと思いましたが」と云って済せたらよいでしょう。

食物を出すのはいいですがそれを無理にすすめてはいけません。もし誰かが、おかわりがあるいは最初から断ったとしても、黙ってその断りを受け入れ、誰をも不愉快にしない様にするのが大切で、いらぬ事を言っすめるのはよくないことです。

部屋の暖房と通風に心を配りましょう。客が眠気を催すと云う経験を度々しますが、これは部屋が暖かすぎたり、通風が悪いと云う証拠です。

どんなパーティでも室温を低い目にしておくのが賢明です。

又ディナーパーティを食堂でして、食後涼しい新鮮な空気の中で楽しもうと思えば、食事中居間の窓を開けて通風をよくしておく云う気のくばり方が必要です。

パーティ中に論争が起ればホステスはよく注意してその場を上手にきりぬけなければなりません。特に知らないどうしの客を招待した場合には大切です。もしよく知っている古い友人でこの2人が集まればいつも同じ話題について論争をしている、と云う場合は知らぬ顔をしている方がよいでしょう。

ところが初めて合った人ですが、政治、宗教、その他の事について話がはずみ興奮し出す様ななればホステスはフォノグラフを鳴らしたり、ダンスにさそったりします。又話題を変えて百日草の花壇の事や子供部屋のカーテンについて相談して見るのもよいでしょう。

この様にして気の合わない人どうしを、話からも、近くに居合わせることからも遠ざける様にしましょう。

パーティ中ホステスは出来る限り皆人と一緒にいる様努めなければなりません。

必要以外に台所には入らない様にし、台所での仕事はなるべく簡単に、例えば皿やその時使った物は流しやカウンターの上に積んでその上から、ちょっと気のきいたナイロンの風呂敷をかぶせて置くと云った風にすればよいでしょう。

パーティが終り始めたら、客を帰り道へと案内することになりますが、急いで追い出す様に又は45分間位も「さようなら」を云い続けてやっと帰るといふ事にならない様にしましょう。

これも又ホストとホステスのリードの仕方に起因するものです。ドアの所で次のミーティングやパーティの計画を立て始めたり、新しい話題を出して又々会話を始めたりしないで

ただ「とっても楽しかったです」と言ってお礼の気持ちを表現しあって別れましょう。

WHAT TO DO WITH THE CHILDREN.....

パーティをする場合、子供が家にいれば色々問題が多くなります。しかしこの機会を利用して子供にパーティの楽しみや礼儀作法を教える様にしましょう。子供達をある部屋に閉込めておくのではなく、小さい時から少しずつそれに参加させ、その雰囲気慣れる様にしたいものです。

客が家にやって来るまでに子供達の食事は済ませ満腹にしておくといよいでしょう。

前もって子供達にどの様に礼儀正しく客をもてなすかの基本的なルールを教えておきます。例えば客が部屋にはいって来れば即座に立って握手をして「今日は誰々さん」と云いなさいとか又その他何でも客をもてなすために必要だと思われる事を充分に教えておきましょう。

もし子供がパーティ中に礼儀作法を忘れる様な場合は穏やかに注意します。それでも聞かない時には知らぬふりをしましょう。余り大げさにするとかえって客や子供達にもぼつが悪くなるものです。

1人1人の子供に簡単な仕事を与える様にしましょう。例えばドアを開ける、コートの掛ける場所を教える、ポテトチップやピーナツをすすめる等の仕事があります。

大人のパーティでは子供達にその場を独占されない様に気を付けましょう。

客が祖父母だけの場合を除いて子供達に歌を歌わせたり、ダンスをさせたりその他短かいパフォーマンスをさせることのない様にしたいものです。

子供達のひきあげる時間をはっきり決めておいて、客が食卓に着く時にはベッドルームに行かせる様にしましょう。

大人が楽しんでいゝのですから、ベッドルームにクッキーを少し届けてやったり、テレ

ピを見る時間をいつもより特別半時間位延してやって子供達にも楽しみを分けてやるのも必要な事です。

THE WELCOME GUEST

ホステスには客を楽しませる義務があります。それと同様に客にも大切な義務があります。それを説明してみましょう。

招待を受ければ早速喜んで出席の旨を伝えます。もし断らなければならぬ時は、その理由を詳しく説明して断ります。1度出席すると返事をした場合は特別な事情がない限り受諾を取り消してはいけません。後から受けた他の招待の方が魅力的であったとしてもその理由で返事を取消すのはよくない事でしょう。

先方の家には丁度いい時刻に着く様にします。遅刻をする事はよくない事です。余り早すぎると遅刻よりも返って迷惑をかける事になりかねません。

車の駐車にも注意が必要です。パーティの先客が止めた車やその隣家の自動車道路をふさがないようにしてはなりません。

ホステスを助け様として余り手伝い過ぎますと返ってホステスのじゃまをする事になり迷惑になります。

内気な人を見つけたら、ホステスが余り忙しい時にはホステスの代りに話しかけたり、話し好きな人がいたらその人のよい聴き手になったり、自分でもおもしろい事の1つや2つ言って笑わせたり、他人の話や冗談で笑ったり、あいづちを打ったりして、その場を楽しむ様に努力してみてください。とっても楽しいひと時を過したと云う事がホステスに通じる様にしたいものです。

1日中仕事をして疲れてパーティに行けばこの様に楽しめるものではありません。

もてなしに甘えて長居するのはよくないでしょう。パーティがまだまだ終りそうになくとも、常識を働かせて帰る時刻が来れば勇気を出して、暇乞いをする最初の人となりましょう。他の人もそれに続いて帰る準備をすれば、ひそかにホストやホステスに感謝されているかもしれません。

帰りにはドアの所で簡単にではあるが、心から「ありがとうございました」と御礼を云いましょう。

車の所から大声で「さようなら」と云うのは隣り近所の迷惑を考えない人のすることです。

次の日電話をかけてもう1度「ありがとうございました」と御礼を云い、昨日の色々な思い出話をし、感謝の気持ちを伝える事が出来ればそれ以外にホステスを喜ばせる方法は見つからないと思います。

